

八戸市学校飼育動物ネットワーク支援事業

～「八戸市学校獣医師」制度について～

1 目的

常に健康な小動物とのふれあいをとおして、幼児児童に豊かな心（思いやりの心、生物愛護・生命尊重の態度等）をはぐくむために、学校飼育動物の飼育管理等について、地域の獣医師（八戸市学校獣医師）と連携したネットワークの構築を図ることを目的とする。

2 方法

市内小学校48校と併設の市立幼稚園1園を対象に、5つのグループに分け、各グループの担当獣医師を1～2名程度ずつ割り当て、各学校獣医師は、年1回の訪問指導を行い、幼児児童と学校飼育動物との「ふれあい指導」と「適正飼育管理指導」を行う。

3 八戸市学校獣医師制度

(1) 身分

地方公務員法に規定する非常勤職員（特別職）⇒公務災害の適用

(2) 職務

学校教育の一環として、幼児児童に豊かな心をはぐくむために、学校飼育動物との「ふれあい指導」を行うとともに、学校飼育動物の適切な飼育管理方法等の指導助言等を行う。

(3) 任用

獣医師免許を持っている者で、この職務を遂行する熱意と見識を有していると認められる者に対して、教育委員会が任命する。

(4) 任期

その年の委嘱状交付式の日（4月中旬）から年度末までの1年間。

(5) 勤務態様

学校へ1校あたり年1回訪問指導を行う。勤務時間は1日4時間以内とする。また、随時学校飼育動物の飼育方法に関するアドバイスをを行う。

4 ふれあい指導の様子



ウサギの心音を聞く児童



イヌの散歩のさせ方を学ぶ児童